

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	滋賀県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	愛東町立愛東南小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	12
児童数	34	23	25	33	29	25	1	170	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「確かな学力を持ち、自ら学ぶ子どもの育成」 基礎・基本の徹底ときめ細かな指導を通して</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>・1年生～6年生および特殊学級児童について、国語と算数の2教科で実施。</p> <p>国語について 全ての教科学習の元になる基礎教科であるため。</p> <p>算数について 特に積み重ねの必要な教科であり、学習意欲や学力に大きな差が出やすい教科であるため。</p>

(2) 年次ごとの計画

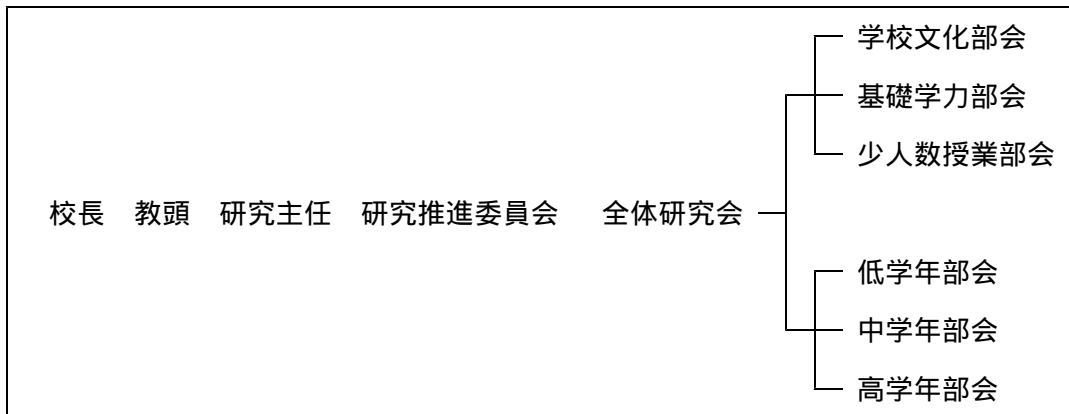
平成14年度	/
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 『確かな学力を持ち、自ら学ぶ子どもの育成』 豊かな学校文化の創造と基礎学力の充実、 学習集団の最適化を目指して</p> <p>研究の見通し(仮説) 学ぶ場にふさわしい学校文化の創造と、「読み」・「書き」・「計算」に代表される基礎学力づくりを通して、学力の基盤を培うとともに、少人数授業による学習集団の最適化を追究することにより、個に応じたきめ細かな学習指導の展開を図り、「確かな学力」づくりと学習意欲の高揚を目指す。</p> <p>研究の内容・方法 学校文化づくりと保護者ボランティアの活用 豊かな語彙と優れた書き言葉は、人間の情操と思考の根幹を形作るものであり、学力の基盤である。こうした考えに立って読書文化等の創造を図る。また、開かれた学校づくりや人とのふれあいつくりの観点からも読書ボランティア(PTA「ブックんの会」)を育てる。 ・「本の時間」(毎日の10分間読書、基礎的読書・関連発展的読書・課題追究的読書、「ブックんの会」による読み聞かせ) ・お話広場(絵本の読み聞かせ、話し手は教師・高学年児童・「ブックんの会」、昼休みの課外活動)</p>
--------	--

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども読書の日」の取組み、図書館祭り、親子読書 「基礎の時間」(モジュール) 国語と算数について特設。 国語については、優れた書き言葉に数多く触れさせることを通して、豊かな語彙を獲得させ、表現力を習わせる。算数については計算力の習熟を図る。 ・国語(週当たり15分×2回、詩歌の音読、暗唱、聴写など) ・算数(15分×2回、百マス計算や計算問題) 算数科における少人数授業、TT指導 基礎・基本と繰り返し指導を重視したカリキュラムや単元指導計画の作成、習熟度別少人数指導の導入と1年生におけるTT指導の充実を図る。
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 『確かな学力を持ち、自ら学ぶ子どもの育成』</p> <p>豊かな基礎学力づくりと習熟度別少人数授業、基礎・基本の定着を重視したカリキュラムを通して</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <p>学校文化と基礎的な言語能力の一層の充実、算数科における基礎・基本の確かな定着を図るシステム(指導と評価の一体化、カリキュラム、特別支援)の確立、習熟度別少人数授業の全面展開を通して、確かな学力を培い、意欲的に進んで学ぶ児童を育成する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>平成15年度の研究内容・方法を発展させ、必要に応じて新しい研究分野を開拓する。</p> <p>学校文化づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本の時間」(関連発展的読書と課題追究的読書の充実、読書の幅を広めるためのブックトークの取組み等) 基礎の時間(モジュール) ・国語(詩歌に加えて、説明文などの論理的文章の音読や聴写) ・算数(実態把握と繰り返し指導による計算の習熟) 算数科における習熟度別少人数授業 ・コース別カリキュラム(基礎基本の定着を重視したカリキュラム、基礎基本を発展へとつなぐカリキュラム) ・体験的な算数活動の工夫 ・プレテストとコース選択の援助・指導 ・形成評価と個人カルテ、個に応じた学習指導 ・自ら学ぶ力をささえる学習技能や態度の育成 ・全校的な特別支援による学習指導の体制
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

読書量の増加（1か月間に学校図書館で借りた児童1人当たり平均冊数）
 ・1年生：2.3冊 ・2年生：4.2冊 ・3年生：3.9冊
 ・4年生：4.8冊 ・5年生：5.3冊 ・6年生：4.2冊
 学校図書館で1年間に借りる本は、推定で25.3冊（1年生）～58.3冊（5年生）であり、以前と比べて飛躍的に増加している。これは、「本の時間」（10分間読書）の成果である。

学習意欲の高揚...児童による自己評価より（調査対象は3年生以上、平成15年7月実施）
 「本の時間」（毎日の10分間読書）
 ・楽しい：70%、普通：25%、楽しくない：5%
 ・学年が上がるほど「楽しい」が増加、6年生は79%（「楽しくない」0%）

国語の「基礎の時間」（モジュール、週当たり15分×2回、詩歌の音読）
 ・やる気が出る：20%、普通：67%、やる気が出ない：13%
 ・国語については、数字の上では意欲の高揚があるとは言えないが、以前と比べて大きな声で音読ができるようになった。

算数の「基礎の時間」（モジュール、週当たり、計算の習熟）
 ・やる気が出る：51%、普通：41%、やる気が出ない：8%
 ・努力の成果（計算の正確さや速さ）を具体的に確かめられることが、成就感や意欲につながっていると考えられる。

少人数授業（算数）について
 ・やる気が出る：32%、普通：54%、やる気が出ない：15%
 ・概ね評価できるが、学級による差が大きい。

学力の伸び
 漢字（前学年の配当漢字の読み、平成15年11月調査）

	71%以上正答した人数(%)	91%以上正答した人数(%)
2年生(23人)	20(87%)	0
3年生(24人)	21(88%)	0
4年生(31)	24(77%)	16(52%)
5年生(30人)	27(90%)	21(70%)
6年生(24人)	24(100%)	15(63%)

まだまだ不十分であるが、読書量の増加により高学年で成果が出ている。前学年配当漢字の書取については、まだ大きな成果は見られない。当該学年の漢字習得調査は3学期に行う予定。

表現力
 表現力については数値的に実証できないが、「国語の基礎の時間」（モジュール）における優れた詩歌や散文の音読や聴写などにより、言語感覚が高まり、日記や作文などで情操豊かな表現が数多く見られるようになった。

2. 今後の課題

習熟度別少人数指導（算数）の充実
 ・単学級小規模校の実態に合う習熟度別少人数指導（2コース制）のあり方
 ・習熟度別少人数指導における学び合い学習のあり方

きめ細かな評価と個に応じた指導の徹底（算数科を窓口にして）
 ・プレテスト、形成評価、総合評価と一人ひとりに応じた指導のあり方
 ・児童による自己評価と自ら学ぶ力（学習を見通す力、意欲）の育成

算数科における基礎基本の徹底
 ・基礎基本重視の観点からのカリキュラムの重点化（6年間の見通しに立って）
 ・「算数基礎の時間」（モジュール）の指導計画の充実と効果的な指導

数学的思考の育成
 ・算数活動の工夫
 ・教材、教具の工夫と開発

国語科における基礎の拡充
 ・読書指導と「本の時間」の充実
 ・優れた詩歌、散文（論理的文章）の音読、聴写などによる言語感覚、思考力の育成

- ・自ら調べる力の育成（国語辞典・漢字辞典の使い方の習熟）
- 豊かな表現力の育成
- ・国語科を初め、全教育活動における総合的学力としての作文力の一層の育成。

学力等把握のための学校としての取組

全校・全学年を対象に以下の取組を行っている。

- 読書の実態把握（読書指導に生かすため。毎月、学級別・個人別に図書館で借りた本を把握、読書傾向の把握）
- 全国的な標準テストの実施（前学年までの学力を把握して、カリキュラム編成に生かすため。国語と算数について、毎年、5～6月に実施）
- 漢字習得の実態把握（漢字の習得状況を把握して、取組に生かすため。前学年配当漢字の読み書きは2学期末に、当該学年の配当漢字は3学期末に実施）
- 計算力の実態把握A（基本的な計算力の定着を確認するため。3学期に実施）
- 計算力の実態把握B（計算力の習熟度を把握し指導に生かすため。算数の「基礎の時間」の年間計画に沿って実施）
- 四則概念の理解実態把握（四則適用場面の理解度を把握し指導に生かすため。算数科年間計画に沿って実施）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 研究会、説明会等の開催実績及び開催予定
- ・学力向上フロンティアスクール事業地区協議会
日時：平成15年10月24日（金） 場所：愛東町立愛東南小学校、
対象：彦根市・犬上郡・愛知郡内（滋賀県内）小中学校教職員
目的：研究成果の普及
- ・学力向上フロンティアスクール事業地区協議会（平成16年度予定）
日時：平成16年6月 場所・対象・目的は同上。
- ・学力向上フロンティアスクール事業地区協議会
日時：平成16年10月 場所・対象・目的は同上。
研究成果普及のための冊子の作成（平成16年度予定）
平成17年2月作成・配布の予定。
フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動（平成16年度予定）
平成16年度愛東町教職員全員研修会講師として、研究成果を発表。

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無